

令和元年度「地域年金展開事業」取組経過

令和元年12月末現在
東北福島年金事務所
(福島県代表事務所)



日本年金機構

Japan Pension Service

目 次

1 令和元年度の取組経過・	2
(1) 地域連携事業	
(2) 年金セミナー事業	
(3) 地域相談事業	
(4) 年金委員活動支援事業	
2 「ねんきん月間」「年金の日」の取組・	20
3 マスコミでの取り上げ状況・	21
4 福島県内の各年金事務所における取組・ (東北福島・郡山・平・会津若松・相馬・白河)	22
5 福島県地域年金事業運営調整会議・	28

1 令和元年度の取組経過

(1) 地域連携事業

① 生活保護新任査察指導員及び新任担当職員研修会への講師派遣

各市福祉事務所及び県保健福祉事務所の新任査察指導員並びに新任担当職員に対し、年金制度の概要や受給要件の確認方法など、ご要望いただいた内容に基づき説明を行いました。

講習会名	事務所名	受講者数
生活保護新任査察指導員及び新任担当職員研修会	東北福島	62名

② 市町村国民年金担当者研修会の実施

統一した情報の共有と事務の適正化及び効率化を図るため、県内市町村担当者を対象とした国民年金に関する事務処理の説明会を実施しました。

講習会名	事務所名	受講者数
市町村国民年金事務担当(初任者)研修会	各年金事務所	84名
市町村国民年金事務担当者研修会	会津若松	19名
市町村国民年金事務担当者研修会	白河	3名

(1) 地域連携事業

③ 県南地域相談支援専門員スキルアップ研修会への講師派遣

県南地域の相談支援専門員及び県南保健福祉事務所職員並びに各市町村障がい福祉担当職員に対し、「障害基礎年金の基礎知識」についての研修を行いました。

講習会名	事務所名	受講者数
県南地域相談支援専門員スキルアップ研修会	白河	16名

④ 退職準備セミナーへの講師派遣

福島県労働福祉協議会主催の退職準備セミナーにおいて、退職を控えている方や数年内に退職を迎えられる方々に対して、年金制度の概要や退職後の年金手続きについての説明を行いました。

事務所名	東北福島	郡山	平	会津若松	相馬	白河	合計
開催日 (各土曜日)	1月18日	12月21日	12月14日	11月23日	—	12月7日	—
参加者数	30名	16名	43名	14名	—	20名	123名

※ 相馬については依頼先の都合により中止

(1) 地域連携事業

⑤ 事業所の社会保険事務担当者向け説明会の実施

■ 令和元年度 算定基礎届等事務講習会(6月開催)

様々な事例を取り上げながら、「算定基礎届」の作成ポイントについて説明を行いました。

また、社会保険事務の基本となる届書の作成に係る注意点やマイナンバーを活用した届出方法についてもご案内し、円滑な事務処理が行えるよう周知を図りました。

事務所名	東北福島	郡山	平	会津若松	相馬	白河	合計
回数	2回(2回)	1回(1回)	1回(1回)	1回(2回)	1回(1回)	1回(2回)	7回(9回)
受講者数	380名 (347名)	399名 (341名)	207名 (218名)	214名 (195名)	114名 (105名)	108名 (103名)	1,422名 (1,309名)

※ ()は平成30年度の実績

■ 令和元年度 社会保険事務講習会(10～11月開催)

社会保険の適用に関する届出や年金の諸手続きなど、幅広い内容で説明を行い社会保険制度についての理解を深めていただきました。

事務所名	東北福島	郡山	平	会津若松	相馬	白河	合計
回数	2回(3回)	3回(3回)	2回(2回)	1回(1回)	2回(2回)	2回(2回)	12回(13回)
受講者数	305名 (567名)	270名 (490名)	199名 (340名)	165名 (289名)	94名 (170名)	95名 (124名)	1,128名 (1,980名)

※ ()は平成30年度の実績

(1) 地域連携事業

⑥ 年金受給説明会への講師派遣

年金受給者協会主催の年金受給説明会において、これから年金を請求される方、すでに年金を受給されている方を対象に、年金の請求時や受給後に必要となる手続き、遺族年金についての説明を行いました。

事務所名	東北福島	郡山	平	会津若松	相馬	白河	合計
開催日	12月14日 (土)	12月7日 (土)	11月24日 (日)	11月30日 (土)	11月30日 (土)	11月30日 (土)	—
出席者数	28名 (80名)	70名 (63名)	48名 (46名)	19名 (27名)	22名 (19名)	12名 (30名)	199名 (265名)

※ ()は平成30年度の実績

⑦ 関係機関・団体等への協力依頼

今年度は10月から「年金生活者支援給付金法」が施行されたことに伴い、福島県商工会議所連合会及び福島県商工会連合会、県内の各商工会議所へ協力依頼を行い、ポスター・パンフレットを配布していただきました。また、福島県医師会へ制度説明会の実施に向けた協力依頼を行い、県内16支部へ周知をお願いしました。

「ねんきんネット」利用促進や「年金相談予約制」の周知・広報については、医療機関、商業施設、駅へ依頼して人の多く集まる場でポスターを掲示するなど、引き続き普及に向けた取り組みを行いました。

(1) 地域連携事業

■ 制度説明会の実施状況

事務所別	企業・団体等	受講者数	自治体・公的機関等	受講者数	社会保険協会・委員会等	受講者数
東北福島	・福島県社会保険労務士会 福島支部研修会 ・年金受給説明会(福島市) ・管内事業所	35 28 20	・生活保護新任査察指導員及び新任担当職員研修会 ・管内市町村新任担当事務説明会 ・福島市生活福祉課 生活保護業務担当者研修会 ・退職準備セミナー(福島市)(予定) ・福島市商工観光部 シニア向け講座(予定)	62 14 35	・福島社会保険委員会 総会・研修会 ・算定基礎届事務説明会(福島市)2回 ・社会保険事務講習会(福島市、二本松市)	70 380 305
郡山	・大東銀行 制度説明会 ・年金受給説明会(郡山市)	68 70	・管内市町村新任担当事務説明会 ・退職準備セミナー(郡山市)	13 16	・郡山社会保険委員会 理事会・研修会 ・算定基礎届事務説明会(郡山市) ・福島県社会保険協会郡山支部・郡山社会保険委員会・年金セミナー(郡山、田村市、須賀川市、石川町) ・社会保険事務講習会(郡山市、田村市、須賀川市) ・年金委員研修会(予定)(郡山、田村市、須賀川市、石川町)	30 399 98 270
平	・福島県社会保険労務士会 平支部研修会 ・年金受給説明会(いわき市)	30 48	・管内市町村新任担当事務説明会 ・退職準備セミナー(いわき市)	20 43	・算定基礎届事務説明会(いわき市) ・平社会保険委員会 総会 ・社会保険事務講習会(いわき市)2回	207 50 199
会津若松	・年金受給説明会(会津若松市) ・会津若松年金受給者協会 講習会(予定)	19	・管内市町村新任担当事務説明会 ・管内市町村担当事務説明会(4回) ・退職準備セミナー(会津若松市) ・市町村及び病院担当者障害年金事務研修会	23 19 14 21	・算定基礎届事務説明会(会津若松市) ・社会保険事務講習会(会津若松市)	214 165
相馬	・年金受給説明会(南相馬市)	22	・管内市町村新任担当事務説明会	5	・相馬社会保険委員会 総会・研修会 ・算定基礎届事務説明会(南相馬市) ・社会保険事務講習会(相馬市、南相馬市)	20 114 94
白河	・管内事業所 ・福島県社会保険労務士会 白河支部研修会 ・一日会(官公庁、事業所代表者の定期会合) ・年金受給説明会(白河市)	34 7 50 12	・管内市町村新任担当事務説明会 ・管内市町村担当事務説明会 ・退職準備セミナー(白河市) ・白河ハローワーク職員向け制度説明会(4回) ・福島県社会福祉事業団スキルアップ研修会	9 3 20 35 16	・白河社会保険委員会 ・福島社会保険協会 白河支部 研修会 ・白河社会保険委員会 理事会・総会 ・白河社会保険委員会 研修会 ・算定基礎届事務説明会(白河市) ・社会保険事務講習会(白河市、棚倉町) ・白河社会保険委員会(予定)	8 10 25 19 108 95

(2) 年金セミナー事業

① 教育機関における年金セミナーの実施

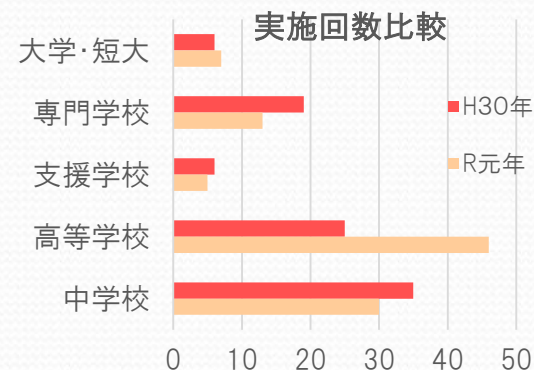
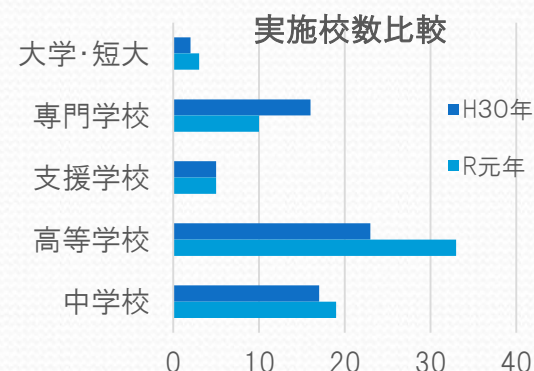
年度初めに教育関係機関へ出向し、年金セミナー実施に向けた協力要請を行いました。各公立中学校・高等学校・特別支援学校及び私立学校・専修学校等へ依頼文書をメールで周知いただいたほか、各校長会で説明時間をいただき年金セミナー実施について直接、学校長へアプローチを行いました。

また、地域年金推進員及び各年金事務所においても、積極的にアプローチを行い、早い時期からの年金教育の重要性について理解を深めていただけるよう働きかけを行いました。

■ 学校別実施状況（令和元年4月～令和2年3月予定）

学校別	実施数 ①	実施予定数 ②	合計 ①+②	30年度
大学・短期大学 【16校】	3校 (7回)	0校 (0回)	3校 (7回)	2校 (6回)
専門学校 【55校】	7校 (7回)	3校 (6回)	10校 (13回)	16校 (19回)
支援学校 【23校】	2校 (2回)	3校 (3回)	5校 (5回)	5校 (6回)
高等学校(※) 【112校】	19校 (27回)	14校 (19回)	33校 (46回)	23校 (25回)
中学校 【229校】	14校 (22回)	5校 (8回)	19校 (30回)	17校 (35回)
合計 【435校】	45校 (65回)	25校 (36回)	70校 (101回)	63校 (91回)

※1 通信制を含む ※2 【 】は学校別対象校数



(2) 年金セミナー事業

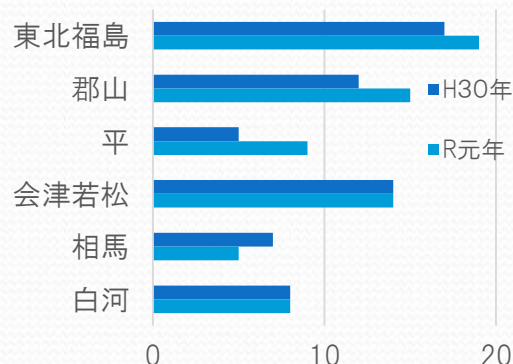
■ 年金事務所別実施状況(令和元年4月～令和2年3月予定)

事務所別	実施数 ①	実施予定数 ②	合計 ①+②	30年度
東北福島 〈87校〉	11校 (18回)	8校 (11回)	19校 (29回)	17校 (31回)
郡山 〈121校〉	12校 (21回)	3校 (6回)	15校 (27回)	12校 (16回)
平 〈91校〉	6校 (8回)	3校 (3回)	9校 (11回)	5校 (8回)
会津若松 〈79校〉	10校 (12回)	4校 (4回)	14校 (16回)	14校 (17回)
相馬 〈23校〉	3校 (3回)	2校 (4回)	5校 (7回)	7校 (9回)
白河 〈34校〉	3校 (3回)	5校 (8回)	8校 (11回)	8校 (10回)

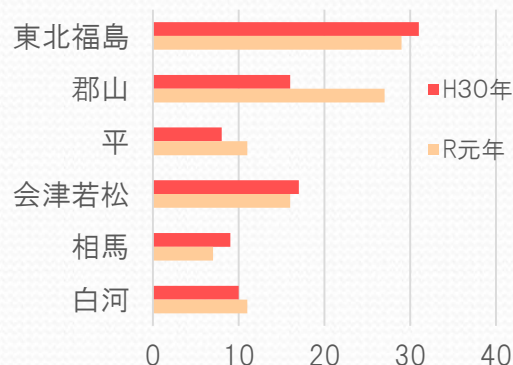
※1 通信制を含む ※2【 】は事務所別対象校数

※3 30年度の郡山2回、相馬2回は東北福島管内の中学校で共同実施

実施校数比較



実施回数比較



② 教員向け年金セミナーの実施

関係機関の後援を得て、教職員の方々を対象にした「教員向け年金セミナー」を開催いたしました。前半で公的年金制度の現状を踏まえた年金制度の概要を説明し、後半では地域年金推進員による年金セミナーの「模擬授業」を行いました。

模擬授業においては、経験を生かした高い講師技術により、「具体的で分かりやすい」、「大変参考になった」等のご感想をいただきました。

開催日	会場	参加者数
令和元年8月8日(木)	ビッグパレットふくしま(郡山市)	16名

(2) 年金セミナー事業

③ 地域年金推進員の活動

平成26年度より、日本年金機構においては、教職員OB等を「地域年金推進員」として委嘱し、学校に対し個別訪問方式で年金セミナーなどの活動を行っていただいています。福島県では2名の地域年金推進員がご活躍しております。

〈主な活動内容〉 ① 訪問・電話でのアプローチ活動 ② 講師をする職員へのアドバイス
③ 年金セミナー実施 ④ 年金セミナー資料に係る提案・助言等

委嘱事務所	委嘱日	主な管轄地区	アプローチ回数(※)
東北福島	平成26年 8月 1日	東北福島・会津若松・相馬	311回
郡山	平成28年 4月 1日	郡山・平・白河	

※令和元年12月現在



推進員による年金セミナーの様子

④ 福島県社会保険労務士会とのコラボ授業の実施

福島県社会保険労務士会の上承を得て、今年度より「年金セミナー申込書」にコラボ授業希望の有無の欄を設けました。また、福島県社会保険労務士会からも前年度に引き続きご依頼をいただき、下記のとおりコラボ授業を実施いたしました。

事務所名	実施日	実施校名
会津若松	令和元年11月13日	福島県立西会津高等学校
会津若松	令和2年 1月15日(予定)	福島県立大沼高等学校(※)
平	令和2年 1月16日(予定)	福島県立ふたば未来学園高等学校
相馬	令和2年 1月20日(予定)	福島県立原町高等学校

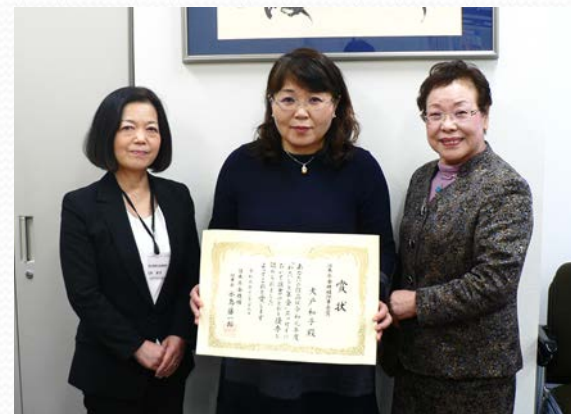
※社労士会の「ワークルールセミナー」とは別の日程で実施

(2) 年金セミナー事業

⑤ 「わたしと年金」エッセイ募集の取組と結果

今年度も公的年金との関わりを描いたエッセイ「わたしと年金」を募集し、教育関係機関や市町村、報道機関等へ周知・広報へのご協力をいただきました。結果として、全国で1,290件うち学生の応募は1,184件となり、福島県では学生の応募が31件と昨年度より増加いたしました。

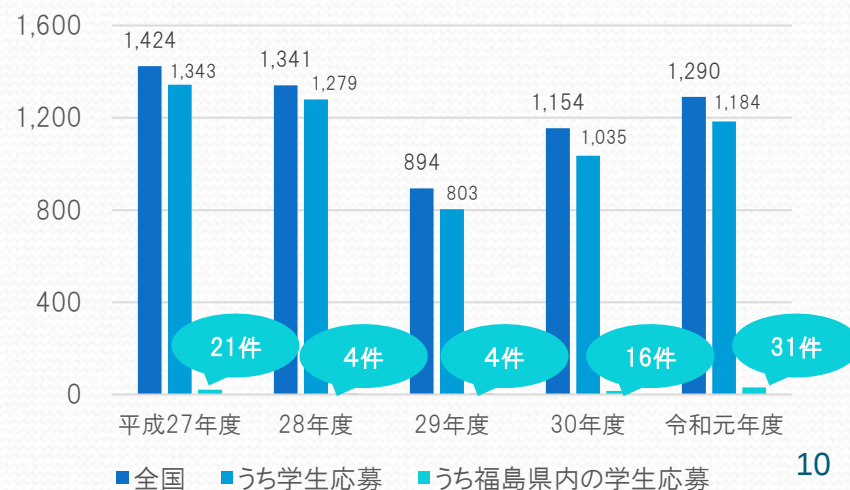
今回、福島県より日本年金機構理事長賞1名、優秀賞1名が選ばれました。表彰式は厚生労働省で行い、日本年金機構理事長より表彰状が授与されました。また、今年度積極的に応募いただいた学校についても、管轄年金事務所より感謝状を授与する予定としております。



(左から)東北福島年金事務所長、大戸様(福島看護専門学校副校長)
(右)福島看護専門学校長

賞	道県名	氏名	年代
厚生労働大臣賞	岐阜県	平澤様	高校生
日本年金機構理事長賞	福島県	大戸様	50代
優秀賞	栃木県	加藤様	30代
	北海道	佐藤様	高校生
	福島県	渡邊様	高校生

「わたしと年金」エッセイの応募状況



(2) 年金セミナー事業

■ 年金セミナーの実施状況（大学・専門学校）

実施月	大学	学年	受講者数	事務所名	専門学校	学年	受講者数	事務所名
5月	・福島学院大学	2	48	東北福島				
6月	・福島県農業総合センター農業短期大学校	1	52	白河	・福島県立総合衛生学院 ・太田看護専門学校	3 2	14 78	東北福島 郡山
7月	・福島学院大学	2	25	東北福島	・郡山理容協会立 郡山理容学校	2	6	郡山
8月								
9月					・学校法人 こおりやま東都学園 郡山健康科学専門学校	2	12	郡山
10月	・福島学院大学	1	104	東北福島				
11月	・福島学院大学 ・東日本国際大学	2 2	49 100	東北福島 平	・郡山ヘアメイクカレッジ ・福島県立テクノアカデミー浜	1 2	49 36	郡山 相馬
12月	・福島学院大学	1	26	東北福島	・白河医師会白河准看護学院	2	7	白河
1月					・ケイセンビジネス公務員カレッジ ・仁愛看護専門学校 ・大原看護専門学校	1~2 2 1	120 32 32	郡山 会津若松 東北福島
2月								
3月								

(2) 年金セミナー事業

■年金セミナーの実施状況（高等学校・支援学校・中学校）①

実施月	高等学校・支援学校	学年	受講者数	事務所名	中学校	学年	受講者数	事務所名
6月	・白河厚生総合病院附属高等学校	2	28	白河	・郡山市立第七中学校	2	30	郡山
7月					・天栄村立湯本中学校 ・郡山市立第七中学校(2回) ・福島県立会津学鳳中学校(3回)	3 2 3	2 56 81	郡山 郡山 会津若松
8月					・須賀川市立岩瀬中学校	3	44	郡山
9月					・本宮市立本宮第一中学校 ・郡山市立第七中学校 ・いわき市立平第一中学校	3 2 3	127 30 120	東北福島 郡山 平
10月					・郡山市立第七中学校 ・いわき市立川部中学校	2 3	63 15	郡山 平
11月	・学校法人 松韻学園 福島高等学校(2回) ・福島県立田村高等学校(4回) ・福島県立四倉高等学校(2回) ・福島県立西会津高等学校 ・福島県立大笹生支援学校	3 3 3 3 —	190 219 60 18 61	東北福島 郡山 平 会津若松 東北福島	・郡山市立第七中学校 ・田村市立滝根中学校	2 2	33 45	郡山 郡山
12月	・福島県立福島商業高等学校(3回) ・福島県立福島工業高等学校 ・福島県立福島南高等学校 ・福島県立福島中央高等学校 定時制 ・学校法人 東稜学園 福島東稜高等学校 ・福島県立保原高等学校 ・福島県立郡山支援学校 ・福島県立好間高等学校 ・福島県立勿来高等学校 ・福島県立相馬農業高校飯舘校 ・福島県立耶麻農業高等学校 ・福島県立会津工業高等学校 ・福島県立田島高等学校 ・福島県立南会津高校 ・福島県立会津農林高等学校	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	237 79 78 15 36 197 10 63 15 7 39 240 59 50 89	東北福島 東北福島 東北福島 東北福島 東北福島 相馬 郡山 平 平 相馬 会津若松 会津若松 会津若松 会津若松 会津若松	・川俣町立山木屋中学校 ・須賀川市立小塩江中学校 ・郡山市立緑ヶ丘中学校 ・湯川村立湯川中学校 ・会津若松市立河東学園中学校 ・ザペリオ学園中学校	3 3 3 3 3 3	3 9 115 35 25 56	東北福島 郡山 郡山 会津若松 会津若松 会津若松

(2) 年金セミナー事業

■年金セミナーの実施状況（高等学校・支援学校・中学校）②

実施月	高等学校・支援学校	学年	受講者数	事務所名	中学校	学年	受講者数	事務所名
1月	・福島県立福島工業高等学校 定時制 ・福島県立川俣高等学校(2回) ・福島県立明成高等学校 ・福島県立郡山北工業高等学校 ・福島県立福島学園 ・福島県立ふたば未来学園高等学校 ・福島県立塙工業高等学校 ・福島県立原町高校 ・福島県立相馬農業高校 ・福島県立大沼高等学校 ・福島県立只見高等学校 ・福島県立猪苗代支援学校 ・福島県立福島北高等学校	3、4 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 1～3 3	24 43 231 40 17 20 51 20 92 98 35 17 155	東北福島 東北福島 東北福島 郡山 郡山 平 白河 相馬 相馬 会津若松 会津若松 会津若松 東北福島	・伊達市立松陽中学校 ・棚倉町立棚倉中学校(4回)	3 3	60 135	東北福島 白河
2月	・福島県立視覚支援学校 ・学校法人 東稜学園 福島東稜高等学校(2回) ・福島県立平工業高等学校 ・福島県立西郷支援学校	3 1 3 3	2 185 254 20	東北福島 東北福島 平 白河	・西郷村立川谷中学校	2	4	白河
3月					・中島村立中島中学校 ・いわき市立好間中学校	3 3	44 94	白河 平

(3) 地域相談事業

■遠隔地における出張年金相談の開催

遠方にお住まいの方で、年金事務所へお越しいただくことが困難なお客様のために、県内各所にて出張年金相談を開催しています。市町村や社会保険協会の広報誌に掲載案内を掲載していただいているほか、地域型年金委員向け広報紙「支えあい」でも掲載して周知に努めています。

事務所	開催市町	実施場所	相談日	開催回数	相談者数
会津若松	喜多方市	喜多方市役所	第2木曜日	9回	63名
	南会津町	南会津町役場	第4木曜日	9回	35名
相馬	南相馬市	南相馬市役所	第2、4水曜日	17回	71名

①「一日合同行政相談所」における年金相談会の実施

福島行政評価事務所主催の一日合同行政相談所にて、出張年金相談を行いました。

事務所	開催場所	開催日	相談者数
郡山	郡山市総合福祉センター	令和元年10月10日(木)	2名

(3) 地域相談事業

② ハローワークにおける離職者を対象とした説明会の実施

ハローワークの雇用保険受給者説明会において、離職者に対して国民年金制度の説明を行い、加入・納付・免除の手続きについてのご案内を行っています。今年度より、郡山・須賀川・平のハローワークにおいても実施しています。

事務所	開催場所	実施回数	受講者数
郡山	ハローワーク郡山	28回	2, 393名
	ハローワーク須賀川	16回	673名
平	ハローワーク平	33回	1, 611名
白河	ハローワーク白河	40回	1, 031名

③ ハローワークでの出張年金相談の実施

ハローワークよりご協力をいただき、雇用保険受給者説明会後に納付相談を実施しています。

事務所	開催場所	実施回数	相談者数
東北福島	ハローワーク二本松	4回	10名

(4) 年金委員活動支援事業

① 年金委員の研修会ならびに表彰式の実施

11月の「ねんきん月間」に併せて、全国健康保険協会福島支部、福島県社会保険協会、福島県社会保険委員会連合会との共催により、令和元年度委員研修会並びに年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式を実施し、関係者約150名のご参加をいただきました。

【開催日】

令和元年11月15日(金)

【開催場所】

コラッセふくしま(福島市)

【研修の部】

演題「急な大雨・雷・竜巻から身を守る」

講師 福島地方気象台 気象情報官



外部講師による委員研修会の様子

【表彰の部】

表彰区分	表彰者数
厚生労働大臣表彰(※)	2名
日本年金機構理事長表彰	5名
全国健康保険協会理事長表彰	3名
日本年金機構理事表彰	13名
(一財)福島県社会保険協会長感謝状	11名
福島県社会保険委員会連合会感謝状	12名
全国健康保険協会福島支部長表彰	19名
日本年金機構事務所長感謝状	21名

※共催団体の表彰者を含む

(4) 年金委員活動支援事業

② 年金委員研修会の実施

■地域型年金委員総会・研修会の実施(6月)

福島県地域型年金委員総会と併せて研修会を実施し、地域型年金委員会役員・顧問12名及び代議員14名に対し、「年金生活者支援給付金、産前産後期間の国民年金保険料免除について」というテーマで研修を行いました。

令和元年10月1日より施行された「年金生活者支援給付金制度」については、受給資格のある方に対して漏れなく、間違いなく給付金を受給していただくため、地域における周知活動についてもご協力を依頼しました。

■地域型年金委員研修会の実施(11月)

県内の地域型年金委員を対象に福島県地域型年金委員研修会を開催し、公的年金の研修として「離婚時の年金分割について」、「2つ以上の年金を受けられる方へ」というテーマで研修を行いました。

また、今年度も外部講師をお招きして講演していただき、「健康寿命を延ばすために」というテーマで健康寿命を延ばすことの重要性について、分かりやすくご説明いただきました。



地域型年金委員研修会の様子

(4) 年金委員活動支援事業

③ 地域型年金委員連絡会の開催

各年金事務所では、「地域型年金委員連絡会」を定期的に行き、年金委員向けの研修会や活動に必要な資料の提供など、活動のサポートを行っています。

事務所名	実施月	参加者数	主な研修テーマ	主なご意見
東北福島	5月	3名	年金委員委嘱拡大について	・年金受給者協会から推薦する際に、対象者の顔写真が必要なのがネックになっている。
平	8月	7名	年金生活者支援給付金について	研修のみ
会津若松	6月	6名	① 今年度の年金委員活動について ② 国民年金制度改正等について	・民生委員は非常勤公務員としての身分が与えられているが年金委員はただのボランティアだ。
	10月	8名	① 扶養親族等申告書について ② 年金生活者支援給付金について	・配布資料があれば必要枚数を送ってほしい。
	12月	8名	① 年金セミナーについて ② 年金生活者支援給付金について	・市町村に民生委員の活用など年金委員の委嘱をもっと強力に要請してほしい。
相馬	11月	1名	年金委員委嘱拡大について	・社保OBへのもっと働きかけを。正直一般企業の人を受けてくれるとは思えない。
白河	5月	11名	①「地域型年金委員の手引き」について ②年金生活者支援給付金について ③公的年金加入状況調査員募集について	・活動について、やはり制限(個人情報等)による限界を感じる。協力出来る事であれば、喜んで協力したいと考えている。
	8月	10名	①管内の国民年金事業の現状等について ②年金生活者支援給付金について ③公的年金加入状況調査員募集について	〈年金生活者支援給付金について〉 ・対象者への勧奨方法や勧奨時期については適切なかどうか。 ・戸別訪問でのアンケート回収のやり方は、時代に合っていないのではないか。やるのであれば、機構職員を増員(調査員では、住民からの信用性の問題・壁を感じた…)するなり、ITを活用するなり、次回に向けた検討を急ぐべきと考える。
	12月	11名	①今後の年金制度の改正予定等について説明 ②年金生活者支援給付金について ③公的年金加入状況調査について	

(4) 年金委員活動支援事業

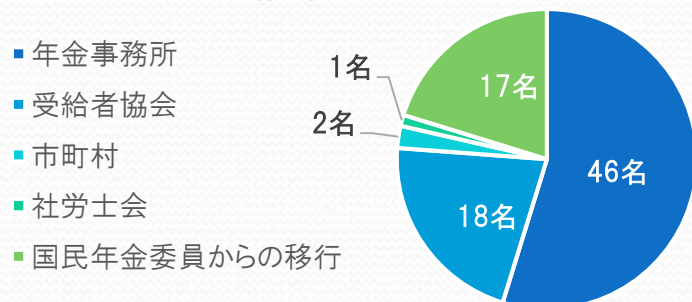
■ 年金委員委嘱者数

事務所名	平成30年度末 (A)			令和元年12月末 (B)			増減 (B)-(A)		
	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計
東北福島	560	20	580	557	21	578	▲3	1	▲2
郡山	523	13	536	519	14	533	▲4	1	▲3
平	415	19	434	424	17	441	9	▲2	7
会津若松	376	17	393	372	10	382	▲4	▲7	▲11
相馬	171	3	174	152	3	155	▲19	0	▲19
白河	234	16	250	235	19	254	1	3	4
県内計	2,279	88	2,367	2,259	84	2,343	▲20	▲4	▲24

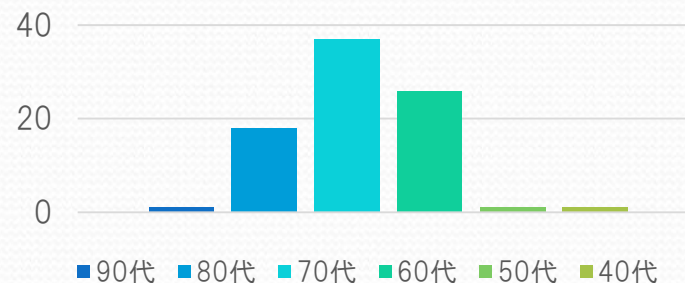
■ 地域型年金委員の委嘱状況

年金委員のうち、地域型年金委員については年金事務所及び関係団体からの推薦で委嘱されております。推薦団体別、世代別の委嘱状況は下記のとおりです。

推薦団体別グラフ



年代別グラフ



2 「ねんきん月間」「年金の日」の取組

日本年金機構では、11月を「ねんきん月間」として、また11月30日(いいみらい)を「年金の日」として積極的に公的年金制度の周知・啓発活動を行っております。

事務所名	取組内容
福島県内	令和元年度 委員研修会並びに年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式の実施
福島県内	令和元年度 福島県地域型年金委員研修会の実施
各年金事務所	令和元年度「社会保険事務講習会」の実施
会津若松・相馬	出張年金相談の実施
各年金事務所	年金受給説明会の実施
各年金事務所	退職準備セミナーの実施
各年金事務所	管内の大学等で年金セミナーを実施
郡山	大東銀行で年金制度説明会の実施
白河	県南地域相談支援専門員スキルアップ研修会の実施
東北福島	管内の支援学校で制度説明会の実施
郡山・平・白河	ハローワークにおける離職者対象の説明会の実施
白河	ハローワーク職員向け制度説明会の実施
東北福島・会津若松	年金事務所内での納付相談会の実施
白河	年金事務所内でこども絵画展を開催
平	管内の商業施設において「年金相談予約」にかかる店内放送を実施
平	管内の大学で学特申請窓口を開設

3 マスコミでの取り上げ状況（一部掲載）

年金セミナーの開催及び「わたしと年金」エッセイ募集等について、県政記者クラブへプレスリリースを行った結果、各紙面へ掲載をいただきました。

掲載年月日	メディア名	事業内容
令和元年7月7日(日)	福島民報新聞	「わたしと年金」エッセイ募集
令和元年7月14日(日)	福島民友新聞	「わたしと年金」エッセイ募集
令和元年7月27日(土)	福島民報新聞	第14回 福島県地域年金事業運営調整会議
令和元年8月1日(木)	福島民友新聞	第14回 福島県地域年金事業運営調整会議
令和元年11月13日(水)	福島民報新聞	令和元年度 年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式(受賞者発表)
令和元年11月28日(木)	福島民友新聞	

※掲載いただいた一部の内容について紹介しております。

4 福島県内の各年金事務所における取組

東北福島年金事務所

年金セミナー事業

● 年金セミナーの実施

教育関係機関への協力依頼や地域年金推進員のアプローチの結果、これまでに11校18回の年金セミナーを実施しました。管内の中学校で行われた年金セミナーにおいては、講師養成を経て初めて講師を務める職員により、受講生3名と少ないながら、教職員も交えてアットホームな雰囲気の中で行うことができました。校長先生からもお褒めの言葉をいただき、講師、生徒ともに充実したセミナーにできたと思います。

こうした実績を積み重ねながら、継続して年金セミナーを実施していただけるよう講師養成やアプローチ活動を行ってまいります。

地域相談事業

● 納付相談の実施

令和元年8月に福島、二本松のハローワークへ協力依頼を行い、10月よりハローワーク二本松で納付相談を行っております。月に1～2回出向して、雇用保険受給説明会の中でアナウンスいただき、説明会終了後に別室で個別相談を実施しています。免除・口振のご案内や申請書の書き方、ねんきんネットの利用促進、60歳以上の方については、年金相談の予約案内や老齢年金ガイドを配布するなど、ご相談者の現状に合わせた対応を行っています。一方で、相談件数が2～5名と少ないことが課題となっており、今後も継続していけるよう、対応についてハローワークと連携しながら広く制度周知が行えるよう努めてまいります。

郡山年金事務所

年金セミナー事業

● 年金セミナーの実施と今後の取組

地域年金推進員が年度当初より多くの学校へアプローチをしたことから、12月末時点では21回(中学校12・高等学校4・支援学校1・専門学校4)の実施となり、平成30年度を大きく上回ることが出来ました。

年金セミナー実施後のアンケートでは、「受講して良かった」など初めて年金セミナーを受講した生徒からの率直な意見が数多く寄せられました。いただいたご意見など集計結果をフィードバックすると同時に次年度の開催の依頼をしております。

なお、1月以降で6回実施する予定です。

引き続き、地域年金推進員との連携を強化し、さらに生徒・学生に理解を深めていただけるよう、分かりやすい説明に努めてまいります。

地域連携事業

● 地域連携事業の取組経過

令和元年度より、ハローワークと連携し、離職された方が参加する「雇用保険受給説明会」において、国民年金加入の案内及び免除(特例)制度についての説明会を開始しました。

11月末時点では36回(6月:3回・7月:7回・8月:6回・9月:7回・10月:6回・11月:9回・12月:6回、計3,066名)に対しての説明を行いました。

「年金受給開始(繰り上げ)について」や「免除の手続きについて」等多くのご質問をいただき、丁寧に説明をしているところです。

引き続き、ハローワークと連携し、より分かりやすい説明会となるよう努めてまいります。

平年金事務所

地域連携事業

● ねんきん月間を活用した取組

★大学生に対する周知啓発の取組

ねんきん月間において効果的な制度周知のため、大学3校へ出張し、在学生向け国民年金出張相談会を実施しました。学生から個別に相談を受けるとともに、大学の会議室で年金制度説明会を開催し100人余の学生の皆さんが自主的に参加していただきました。

今後も、大学と連携を取りながら年金制度の制度周知を図っていきます。

★年金予約相談にかかる周知啓発の取組

管内にある事業所にご協力をいただき、系列スーパーマーケット25店舗において、ねんきん月間の1ヶ月間、年金予約相談周知にかかる店内放送をしていただきました。



年金セミナー事業

● 年金セミナーの取組について

令和元年度は9校、11回の実施を予定をしており、実施校、実施回数とも昨年を上回ることができました。今後も実施校、実施回数の増加を目指した取り組みを行います。

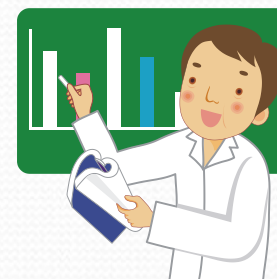
会津若松年金事務所

地域連携事業

● ニーズに応じた年金制度の周知

平成30年度に初めて実施して好評だった医療機関や市町村の担当者を対象とした障害年金の説明会について、今年度も実施しました。

また、今年度新たに始まった年金生活者支援給付金制度について、医療機関や福祉施設にポスターや資料を送付するなど周知に努めました。



年金セミナー事業

● セミナー講師の育成

令和元年度は、セミナー講師を担える職員の育成を行っています。前年度は17回実施していますが、昨年度並みのセミナーをこなすためには、講師の育成が必須です。これまで14校16回を実施していますが、担当者7名のうち4名が初めてのため、12月から毎週月曜日に練習を行っています。



相馬年金事務所

地域連携事業

● 関係機関(団体)との協力・連携

今年度に関しても、地域住民の利便性の観点から、南相馬市役所への出張年金相談を毎月2回実施しております。相談に来られた方からは感謝のお言葉をいただくなど好評であり、今後も継続して行っていききたいと思います。

また、関係機関(団体)主催の年金制度説明会において、積極的に講師派遣を行うとともに、自治体との連携を深め、公的年金制度の周知・啓発に努めていきたいと考えています。

年金セミナー事業

● 年金セミナーの取組について

令和元年度は昨年度の実施回数9回を上回るよう管内の中高校へ文書送付等取組んでいます。また、分かりやすいセミナーとなるよう、講師となる若手職員を中心にセミナーPTを毎月開催し、実施時の反省点等を発言することや公演の予行練習を入念に行うことで、より良いセミナーになるべく取り組んでいます。

その成果か、生徒の皆さんからは説明が分かりやすかったとの感想を多くいただき、「年金のイメージが良くなった」というアンケート結果もいただきました。

現状昨年を上回るペースで開催できていませんが、今後も各学校に積極的に働きかけを行っていきます。また、受講生徒に、より年金制度への理解を深めてもらえるよう、分かりやすい説明に努め、更なる充実を図ってまいります。

白河年金事務所

地域連携事業

● 啓発活動と年金制度説明会

各市町村へ広報紙の記事掲載の依頼を行い、ねんきんネット、予約年金相談、国民年金保険料の納付及び免除制度等、幅広い内容で掲載をいただいております。

また、県南地域相談支援専門員のスキルアップ研修会において、障害年金等の手続き等、実務をするうえで参考となる知識の習得に向け講師を派遣しました。



年金セミナー事業

● 年金セミナーの実施と次年度に向けた取組み

令和元年12月現在で、3校(3回)の年金セミナーを実施しました。今後、年度末にかけて5校(8回)の実施を予定しております。年度末までの年金セミナー実施校の増加に向けて引き続き取組みを行ってまいります。

生徒が実際に将来設計等を考えながら参加し、講師の体験談を交えた分かりやすい進め方を意識し実施し、「20歳になったら加入することが分かった」「年金の必要性が良く分かった」といったご感想をいただいております。

また、アンケート結果のお届けと併せて次年度に向けた実施のアプローチを行い、次年度に繋げる取組みも行っております。

引き続き、年金セミナー講師のスキルアップを図り、更に充実した内容で制度周知を図ってまいります。

5 福島県地域年金事業運営調整会議

地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度の加入や保険料納付の向上に繋がる地域支援ネットワークの構築、及び地域に根ざした年金事業の積極的な推進を図ることを目的として、地域年金事業運営調整会議を開催しています。

会議では、資料に基づき福島県における平成30年度の地域年金展開事業の取組結果及び令和元年度の事業計画について説明いたしました。

【開催日】 令和元年7月26日(金)13:30～16:00

【開催場所】 コラッセふくしま

【出席者】 委員 ※ 14名

日本年金機構 13名

※代理出席を含む

【議事内容】・平成30年度 地域年金展開事業 取組結果
・令和元年度 地域年金展開事業 事業計画



第14回 福島県地域年金事業 運営調整会議の様子

■第14回会議にかかる主なご意見と取組状況①

事業種類	ご意見	取組状況
地域連携事業	事業所の事務担当者や年金委員に対して制度説明会を実施することで、制度の正しい理解が深まり、従業員への的確なアドバイスに繋がるのではないかな。 また、説明会だけでなく、様々な情報ツールを使って広報をする必要があるのではないかな。	制度説明会については、12月末で67回3,691名に対して実施いたしました。また、広報として引き続き「ねんきんネット」を研修会や関係機関などでPRしています。 地域型年金委員に対しては、広報紙「支えあい」のなかで厚生労働省が作成したポータルサイト「年金ポータル」を周知し、年金に関する情報をインターネットで容易に見つけることができるものとしてご案内しました。 今後も各関係団体と事業計画、スケジュールを共有させていただき、共に制度説明会を実施していきたいと考えております。また、対象や広報の方法、時期などについても改めて検討してまいります。
	福島県の大学、専門学校等で学生納付特例事務法人の指定に前向きな学校があれば、東北厚生局としても年金事務所と連携して学校側に要請していく。	ご意見を受けて、10月に郡山管轄の専門学校3校に東北厚生局の方と国民年金課長が訪問して、学生納付特例申請窓口の開設及び学生納付特例事務法人の指定について、依頼を行いました。 結果は、検討するとの回答をいただきましたが、福島県は指定校が少ない現状にありますので、今後ともご協力をいただきながら勧奨を実施してまいります。
年金セミナー事業	授業のなかで年金制度について触れるのは、公民の授業のほんの一部のためーコマ50分の授業として年金セミナーを実施するのは現状として難しい面がある。社会科の授業だけでなく、総合的な学習やホームルームなど学校側に多様な提案をしていってはどうかな。	年金セミナーについては、アプローチの際に地域年金推進員からも学校側へ、社会科・公民以外にホームルームや家庭科、商業に関する時間などでも実施させていただけるようご提案しています。 その結果、12月末で45校65回の年金セミナーを実施しました。 講義の時間は、中高生は50分の授業が基本となっていますが、例えば10分程度といった時間を短縮したセミナー、ホームルーム時間の中で実施できるようなセミナーも学校側に提案していきたいと考えております。

■第14回会議にかかる主なご意見と取組状況②

事業種類	ご意見	取組状況
年金セミナー事業	ほとんどの学生、生徒がスマートフォンやタブレットを使用しているという現状があるので、年金に関する学生向けのアプリを作成してはどうか。	日本年金機構のHPでは、年金セミナーでも使用している公的年金を分かりやすく紹介したアニメーションやマンガを掲載しています。 年金セミナーアプローチの際に活用している「年金セミナーのご案内」(リーフレット)の最後のページでも紹介し、広く周知を行っております。 HPや年金アプリは既存のものがありますが、高校生向け、中学生向けといった生徒の発達段階に合わせたものを新たに作成するよう、本部に要請してまいります。
	福島県社会保険労務士会では、就職する高校、大学生を対象に「ワークルールセミナー」を実施している。 また、特別支援学校、作業所の職員、保護者などを対象に障害年金の制度説明をしている。特に20歳前障害年金の制度を知らない保護者が多い。年金事務所と連携しながら制度の周知をおこなっていききたい。	福島県社会保険労務士会様よりご協力をいただき、年金セミナーとのコラボ授業を12月末で1回、1月以降で3回予定しております。また、特別支援学校での制度説明会を12月末で2校、1月以降に3校実施予定です。 さらに障害年金制度を周知するため、福島県医師会へ制度説明会実施のアプローチを行い、県内16支部へ周知していただきました。 20歳前障害年金の認知度が低いとのご指摘を頂き、年金セミナーや制度説明を実施する対象、機会を広げるため、福島県社会保険労務士会様との更なる協力・連携を図ってまいります。

■第14回会議にかかる主なご意見と取組状況③

事業種類	ご意見	取組状況
年金セミナー 事業	「わたしと年金」エッセイについて、県内の応募件数についてどのように考えているか。生徒・学生だけでなく、一般の方向けの広報が足りないのではないか。	「わたしと年金」エッセイについては、今年は学生応募が過去5年間でもっとも多い31件の応募をいただきました。 教育関係機関へのアプローチ以外には、報道機関へ訪問して、新聞への記事掲載依頼を行いました。また、地域型年金委員へ協力依頼を行い、町内会や自治会への配布や回覧についてお願いしました。 県内の応募数については、少しずつ増えている状況にありますが、一回の広報では足りないので、アプローチする対象者、時期など年間を通して取り組んでまいります。
年金委員活動 支援事業	地域型、職域型ともに委員数が減っている。委員を増やすことは、容易ではないようだがいかがか。	委員数は12月末で職域型が20名、地域型が4名減少しております。要因としては職域型は後任の不在や事業所の閉鎖などで、地域型が3年の任期満了での辞退があります。 しかしながら、研修会の開催や事業所訪問をきっかけにして年金委員を増やしている年金事務所もあり、地道にアプローチをした結果が、委員数の増加に繋がっております。 委員数の減少は、非常に大きな課題であり、委員を増やすため手法を工夫しながら勧奨を行ってまいります。